

日本製トラベルバッグブランド『PROTECA[®]』（プロテカ）

販売本数
2万本突破！ 4方向に開く画期的なスーツケース「360」から
(*1) アルミのツヤ感を放つシックな新色が登場します。



[2016年2月5日（金）より順次発売予定]

エース株式会社（代表取締役社長：森下宏明、本社東京都渋谷区、以下エース）は、4方向に開く画期的な構造で、2015年度グッドデザイン賞を受賞したスーツケース「プロテカ360（スリーシックスティ）」よりアルミニウムのツヤ感を放つ新色「360メタリック」を、2016年2月5日（金）より直営店、全国有名百貨店、専門店にて順次販売することを発表致します。

◆2016年の旅行トレンド予測

2016年は8月のブラジル「リオデジャネイロオリンピック」開催や、6月の「上海ディズニーランド」開業、8年ぶりとなる日本でのG8サミット開催や「北海道新幹線」の開通など、ここ数年、世間を賑わせてきたイベントや施設の開業が相次ぎます。また昨今の原油価格の下落に伴う航空会社の燃油サーチャージの値下げの動きも相まり、大手旅行会社によると、2015年を上回る1,620万人の海外渡航者数を予測。人気エリアとしては不動のハワイ、タイ、台湾と比較的近場の海外が注目を集め、なかでも東南アジアは治安のよさや物価の安さがその人気の理由となっています。一方で2015年の訪日旅行者数は1973万人と過去最高を記録し、国内においても自国への関心が高まり、国内旅行が更に盛り上がる事が予想されています。

◆おススメスーツケースは「高い機能性」、「日本製」

最近のスーツケースの売れ筋傾向として、高い軽量性や移動時にストレスを感じない快適性、使用シーンをふまえた高い機能性である付加価値の高い商品が注目されています。更に渡航先で購入したお土産などを収納できるように「収納力の高さ」や、外国人観光客からも人気のある「メイドインジャパン」、つまり日本製といった高い品質も長くスーツケースを愛用したい旅行者から強く求められています。

これらの要素を全て兼ね備えている唯一のスーツケースブランドが『プロテカ』であり、プロテカブランドの中でも特に独創的で画期的な、4方向に自在に開く開閉構造の「360（スリーシックスティ）」は、シリーズ発売の2015年3月以降から現在までで、累計販売本数は2万本を突破しました。人気の「360」にアルミニウムのツヤ感を放つ新色の「360メタリック」をご紹介します。

(*1)「360」シリーズ発売開始以降2015年3月からの累計販売本数

＜本件に関するお問合せ＞

エース株式会社 マーケティング部 山田 絢音

TEL:03-5843-0607 [読者問合せ: 03-5843-0606] FAX:03-5843-0608 MAIL:a-yamada@ace.jp HP:http://www.ace.jp

360 Metallic 360メタリック

従来のスーツケースの概念を覆す、4方向に開閉可能な人気スーツケース「360」から、アルミニウムのツヤ感をもたせた新色の「360メタリック」が登場します。

日本製



画像：02618-05（縦65cmサイズ）



ネイビー



ブラウン



4方向に開閉したイメージ

従来のスーツケースでは成し得なかった、
4方向に開閉可能な画期的な構造。

シーンにあわせてスーツケースを上下・左右の4方向から開閉できるので、せまい滞在先のホテルではタテに開閉し、スペースの節約も可能に。また移動時の荷物の取り出しもスーツケースを寝かさず、立てた状態での出し入れが可能です。旅行者が潜在的に感じていたストレスを解消しました。

ポイント

- 上下左右の4方向に開閉可能なファスナー仕様（特許出願中）
- 本体にアルミ蒸着（*1）を施し、ボディ全体にアルミの質感を付帯
- ケース底側に立体的な内装スペースを用意
- 内装上部にスリッパやガジェット等を収納できる立体ポケットを装備
- サイレントキャスター搭載
- 2015年グッドデザイン賞受賞

（*1）蒸着：金属や酸化物質などを蒸発させて、素材の表面に付着させる表面処理あるいは薄膜を形成する方法の一種。

商品詳細

品番	サイズ（縦×横×奥行き、外寸）	重量	容量	価格（税抜）
02616	54×36×25cm	3.0kg	32L	66,000円
02617	59×43×26cm	3.5kg	44L	69,000円
02618	65×48×27cm	3.9kg	61L	74,000円
02619	76×54×27cm	4.5kg	85L	81,000円

《カラー》 03:ネイビー ■ 05:ブラウン ■
《素材》 ポリカーボネートハイブリッド樹脂

●プロテカブランド、ハードケースの売り上げ状況（2015年 1月～12月累計）

プロテカのハードケースの売り上げは前年比約**120%**と、好調に推移しています。なかでも**機内持込可能な小型サイズでの伸長率が高く**、昨今の国内旅行人気や近場の海外（台湾やグアムなど）への需要の高まりが反映していると推察されます。2015年の佐藤オオキ氏によるリブランディング以降は女性のお客様も増加しており、全体を通してそのデザイン性と機能性、日本製という品質の高さが大きく注目を集めています。

（佐藤氏が監修した他商品に関しては、次ページに紹介）

業界初！！スーツケースの3年間無償保証サービス『プロテカ プレミアムケア』

エースは、カスタマーサービスのクオリティアップによる他社との差別化を図るべく、購入頂いたプロテカブランドのスーツケースを3年間無償で修理いたします（2015年1月より新商品として発売された商品が対象となります）。今まで航空会社の責任であった「機内や空港での破損、またはその他の運送中に生じた損傷を含む破損」についても無償修理の対象としました。3年の期間内であれば何度でもこの保証サービスを受けることができます。今回の保証における最大のポイントは、**今までバッグ業界では成しえなかった「航空会社の責任範囲である機内や空港での破損、またはその他の運送中に生じた損傷を含む破損」についても保証対象にした点**にあります。エースは日本製ならではの高品質性を「保証」という面から提供することで、お客様に何度でも快適に安心して旅を楽しんで頂きたいと考えております。

*ただし、送料は片道（送り）のみお客様負担となります。



《本件に関するお問合せ》

エース株式会社 マーケティング部 山田 絢音

TEL:03-5843-0607 [読者問合せ: 03-5843-0606]

FAX:03-5843-0608

Mail:a-yamada@ace.jp

Hp:http://www.ace.jp

◆◆What's Proteca?

2005年にデビューした、エースの代表的なトラベルバッグブランド。
「Protect(守る)」「Technology(技術)」「ACE(エースの理念)」の造語。
プロテカのハードスーツケースの殆どが北海道・赤平工場の徹底した品質
管理の下で製造され、“**究極の国産ラゲージ**”として市場で販売されています。



◆◆New Products

ブランド10周年の2014年、デザインオフィス「nendo」代表の佐藤オオキ氏をプロテカのクリエイティブディレクターに迎え、翌15年にブランドを刷新しました。

[代表的な商品 (一部)]

360 SOFT 360 ソフト

佐藤オオキ氏監修のもと、**上下、左右の4方向(360度)から使用環境に合わせて開くことのできる**ソフトタイプのキャリーケース。インナーの上下左右に4つのポケットを装備し、ピンポイントでの荷物の出し入れを可能にしました。ボディにはPVCラミネート加工を施した素材を採用し、防汚性・耐摩耗性を徹底的に強化。独創的なアイデアが詰まった、新スタイルのキャリーケースです。

[5色3型、45,000円～55,000円+税、発売中]



MAXPASS H マックスパスエイチ

機内持ち込みサイズで最大容量40リットルを実現した、**プロテカの中で最も人気の高いハードケース**。ハードタイプながら、PCや書類、ガイドブックやチケットなど細々したアイテムを収納できる前ポケットを搭載し、高い利便性を実現。[4色1型、50,000円+税、発売中]



◆◆JAPAN QUALITY

これまでの日本製は、技術と品質に対する“絶対的な信頼感”が高く評価されてきました。
そして、これからの日本製に求められるものは、“世界が注目する独自の美意識や創造力”です。
プロテカが目指すものは、次の時代を担う新たな価値観「新・日本製」。
その新・日本製のスーツケースを製造するのが、国内唯一のスーツケース工場である、エースラゲージ赤平工場です。

**国内生産半世紀以上の歴史を誇る
日本製スーツケース工場**



エースラゲージ株式会社 赤平工場

最新のテクノロジーと、職人技の見事な融合により、年間およそ15万本のハードケース、6万本のソフトケースを生産する日本で最大かつ唯一のラゲージ工場。最新システムとロボットの導入の他、リサイクルできる素材の採用、排水管理システムの導入など、環境保全活動の拠点としての役割も担っています。

1971年5月、北海道赤平市茂尻に完成。現在、建物面積34,569㎡敷地面積110,330㎡を所有。2011年に創業40周年、2014年にはスーツケースの国内生産50周年を迎えました。

妥協することなく、ラゲージの本質を追求する。

エースでは、品質の徹底的な管理と技術の向上を図るために、北海道・赤平工場にA.T.I.(ACE Technology Institute[エース品質管理研究所]の略)を設立。常にお客様に信頼される最高レベルの製品づくりを目指し、多岐にわたる品質テストを実施しています。

また、A.T.I.では品質管理テストの実施のみならず、次代の新素材や機能、パーツなどの研究を日夜続けており、高品質なプロテカ製品のベースを支えています。



転落テスト

重りを入れたケースを、内側に突起のある1辺1.5mの巨大な六角ドラムに入れて転がす。ぶつかったり倒れたりした際の耐久性をテストします。



落下衝撃テスト

重りを入れたケースを120cmの高さから5回落下させ、キャスターの強度をテストします。



ハンドル強度テスト

5000回もの上下運動で、重りを入れたケースのハンドルとロックの耐久性をテストします。



キャスター走行テスト

重りを入れたケースを屋外で16km走行させ、キャスターの耐久性をテストします。時期によっては室内で行うこともあります。



ボディ表面摩耗テスト

ボディ素材に摩耗テスト用の砥石を1000gの荷重で押し当て、ボディ素材を250回回転させ、表面の摩耗状態と摩耗量を検査・測定し、摩耗耐久性をテストします。

その他、「開閉テスト」(7500回の開閉を繰り返し、ロックやヒンジの耐久性をテスト)や「耐湿テスト」(気温約40度、湿度85%の状況下に500時間置くことによる品質テスト)、「温度サイクルテスト」(気温40℃、湿度85%のなかに24時間放置したあと、-20℃のなかに24時間放置。これを3回繰り返し耐熱性をテスト)など主に8項目の厳しいテストを実施しています。

佐藤オオキ

1977年カナダ生まれ。00年早稲田大学理工学部建築学科首席卒業。
02年同大学院修士課程修了、同時にデザインオフィス nendo を設立。
05年 nendo ミラノオフィス設立。06年、Newsweek 誌「世界が尊敬する日本人100人」に選出される。12年 Wallpaper 誌（英）および ELLE DECO INTERNATIONAL DESIGN AWARD にて Designer of the Year を受賞。作品は MoMA（米）、ポンピドゥーセンター（仏）、V&A 博物館（英）など世界の美術館に収蔵されている。www.nendo.jp



エース株式会社 会社概要

社名 : エース株式会社 ACE Co.,Ltd.

創業 : 1940年1月1日

資本金 : 14億1000万円

代表者 : 代表取締役社長 森下宏明

従業員数: 1439名(2014年12月21日現在・連結)

事業内容: 旅行バッグ、スーツケース、ビジネスバッグ、スポーツバッグ、ファッションバッグ、旅行小物などの製造卸

売上高 : 310億円(2014年度・連結)

URL : <http://www.ace.jp>

系列会社: エースラゲージ株式会社、エース物流サービス株式会社、エースサービス株式会社、株式会社エーストレーディング、株式会社グローバルプロジェクト、Zero Halliburton Inc.、ACE ITALIA S.R.L、SINGAPORE ACE PTE.LTD.、ACE HONG KONG LUGGAGE CO.,LTD.

【東京本社】〒150-0001 東京都渋谷区神宮前1-4-16 神宮前M-SQUARE

【大阪本店】〒541-0059 大阪市中央区博労町4-5-2